

財務ハイライト (2025年9月期)

第四北越FG(連結)

親会社株主に
帰属する中間純利益

228
億円

前年同期比
+ 81億円

自己資本比率

10.98
%

前年同期比
+ 0.90pt

第四北越銀行(単体)

中間純利益

215
億円

前年同期比
+ 85億円

預金等残高(平均残高)

8兆6,824
億円

前年同期比
+ 179億円

貸出金残高(平均残高)

5兆6,443
億円

前年同期比
+ 1,893億円

不良債権比率

1.95
%

前年同期比
▲ 0.23pt

非財務ハイライト (2025年9月期)

デジタル顧客数*

49.2
万先



女性管理職比率
(銀行、代理級以上)

26.7
%



*だいししきくえつID保有者(りとるばんく・マイページの利用者等)
および個人eネットバンキング利用者数等

株主優待制度のご案内

■ 株式分割に伴う株主優待制度の変更(実質的な変更なし)

2025年10月1日の株式分割に伴い、株主優待制度の対象となる保有株式数を変更致しましたが、分割比率に応じた見直しであり実質的にはこれまでと変更ありません。

内容 ○300株以上600株未満保有されている株主さま
1,000円相当の新潟県内産品

○600株以上保有されている株主さま
以下のカタログのいずれかより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。
①地元新潟県の特産品および各種寄付コースを掲載したカタログ
②TSUBASAアライアンス共同企画として他県の特産品を掲載したカタログ

《優待基準》

保有株式数	優待品の金額
300株以上600株未満	1,000円相当
600株以上6,000株未満	2,500円相当
6,000株以上	6,000円相当

対象の株主さま 毎年3月31日を基準日とし、当社株式を継続して1年以上保有(毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に同一株主番号で連続して3回以上記録)する株主さまを対象とします。

・株主優待カタログについては、
当社HPをご覧ください。



株式会社 第四北越フィナンシャルグループ

〒951-8066 新潟県新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1

TEL 025-224-7111(代表) HP <https://www.dhfg.co.jp>

2025年11月発行



このディスクロージャー誌は、
植物油インキで
印刷しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



第四北越フィナンシャルグループと
TSUBASAアライアンスは、
SDGs宣言を制定しています。



第四北越銀行は、
21世紀金融行動原則に
署名しています。

第四北越

フィナンシャルグループ 2025年度中間期レポート



第四北越フィナンシャルグループ

プロフィール

本店所在地
総資産
資本金
上場証券取引所

新潟県新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
2018年10月1日
10兆6,851億円
300億円
東京証券取引所 プライム市場
(証券コード : 7327)

経営理念

私たちは

信頼される金融グループとして

みなさまの期待に応えるサービスを提供し
地域社会の発展に貢献し続けます

変化に果敢に挑戦し
新たな価値を創造します

行動の規範
(プリンシプル)

使命
(ミッション)

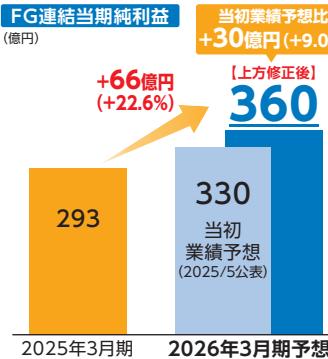
るべき姿・方向性
(ビジョン)

トピックス

“飛躍のステージ” 第三次中期経営計画

■ 2026年3月期通期業績予想の上方修正

県外事業性貸出が順調に増加し貸出金利息が堅調に推移しているほか、有価証券利息配当金もこれまでのポートフォリオの見直しを通じて増加するなど、資金利益が当初予想を上回る見込みであることから、2026年3月期通期業績予想（当社連結当期純利益）を360億円（当初予想比+30億円）へ上方修正しました。



株主還元の充実

■ 株式分割の実施

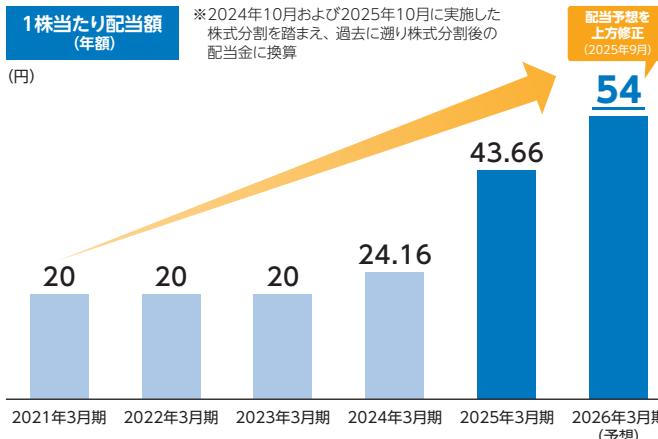
2025年10月1日に、当社株式の最低投資金額を引き下げ、流動性を高めることで、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図るために、1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。

■ 配当の上方修正（増配）

通期業績予想の上方修正を踏まえ、2026年3月期の中間配当・期末配当予想を1株当たり2円*ずつ増配しました。2026年3月期の年間配当予想は、54円*（前年比+10.33円、当初予想比+4円）としています。

*2025年10月に実施した株式分割を踏まえ、株式分割後の配当金に換算

<配当金の推移>



新潟県の魅力発信に向けた取り組み

■ 地域商社による地域ブランドの価値向上・販路拡大支援

地域商社ブリッジにいがたでは、2025年5月に、新潟県内の特産品や農作物のブランディングに向けて、自社プライベートブランド「美四季（うつくしき）」を立ち上げ、第1弾の取り組みとして「美四季 弥彦産コシヒカリ」の生産を開始しました。このほか、海外へ新潟県産品を輸出するなど、新潟県産品の販路拡大に積極的に取り組んでいます。



人的資本価値向上に向けた取り組み

■ 健康経営態勢の強化

当社グループでは、従業員が健康で安心して働き、能力を最大限発揮することで、働きがいや幸福感を実感できる職場環境づくりを目指しています。これまでの取り組みは高く評価され、国などの各種認定制度で認定を受けています。



TSUBASAアライアンス

■ TSUBASAアライアンス発足から10周年

第四北越銀行を含む地方銀行10行による広域連携の枠組み「TSUBASAアライアンス」では、システムや事務の分野にとどまらず、営業推進やリスク管理、さらには人的資本強化への取り組みなど、多岐にわたる分野で連携を推進しています。

本アライアンスは、2015年10月に第四北越銀行、千葉銀行、中国銀行の3行で発足し、2025年10月に10周年を迎えました。共通のスローガン「地域とともに未来へはばたく」のもと、引き続き、連携を一層深化させ、地域の持続的な発展に貢献してまいります。



群馬・第四北越アライアンス

■ 群馬銀行との経営統合に関する基本合意

第四北越銀行と群馬銀行は、2021年に「群馬・第四北越アライアンス」を締結し、連携を深めつつ地域への貢献と企業価値の持続的向上に取り組んでまいりました。これまでのアライアンスの連携効果などを踏まえ、地域への更なる貢献を永続的に果たしていくためには、経営の「規模」と「質」の両面で地方銀行トップクラスの新金融グループへとステップアップすることが必要だと考え、2025年4月に経営統合の基本合意書を締結し、2027年4月（予定）の経営統合に向け協議・検討を開始しました。

両社グループが共通の強みとそれぞれの強みを持ち寄り協働し、規模のメリットや広大なネットワーク、情報連携の優位性を活用することで、トップラインシナジーの最大化を目指してまいります。

【両社グループのシナジー効果を表すイメージ図】

お客さまや地域への更なる貢献

